きんたろう倶楽部通信

3号

2006年12月20日発行
きんたろう倶楽部事務局
〒930-0151 富山市古沢254番地
富山市ファミリーパーク内
TEL&FAX：076-434-1316
URL：http://kintaroclub.net
E-mail：info@kintaroclub.net

2006年4月23日
きんたろう倶楽部結成
12月の会員数：733名

人びとが暮らすために必要な森づくり。子どもたちがのびのび育つために必要な森づくり。
それにはあなたの力が必要です。自然の恵み豊かな富山の里山を、いっしょに創りませんか。

小羽地区 清水記念碑公園整備

9月3日・9月16日／下準備 会員19名参加
9月24日／133名参加
10月8日／16名参加
11月12日／26名参加

蘇える清水公園

▼富山が爆撃されているというので、暗闇の中を高台にある清水公園（清水建設㈱創業者『喜助』の顕彰碑あり）に急いだ。すでに数組の家族が避難して来ており、用意周到にして床について眠っている子供もいた。富山あたりは延焼の明かりなのだろうくすんだ赤い空に火のついた油が（焼夷弾なのだがそのように見えた）ツ・ツ・ツ・ツーっと落下して、そしてパッと閃光が拡がった。その度に「アレー　何処らへんだろか」という悲痛なざわめきの中で、母親に手をひかれた坊やはまるでプラネタリウムで観察しているかのように目を凝らしながらチヂコマっていた。▼この清水公園は小羽小学校から歩いて7～8分ほど登ったところにある。築山のような格好をしており、中央には立山連峰に向かって包喜翁『喜助』の記念碑が建立されている。眼下に神通川の清流を望み、上流は笹津橋方面から、下流は大沢野大橋方面まで一望することが出来る。そんなところだから遠くからでも子供たちが遠足で訪れたり、あるいは家族づれや職場グループの憩いの場ともなって親しまれて来たところである。また富山の花火などは音と光がマッチしてないけれども、気にしなければ十分楽しめるところでもあった。▼しかしながら周辺の畑には計画的に杉などが植えられてきており、今ではその樹木も大きく成長してきて更には竹林のはびこりも重なって、これらの眺望を完全に遮ってしまう結果となってしまった。今では訪れる人もほとんどいなくなってしまった。

活動報告

「森を元気に、人を元気に」をスローガンに今年4月に結成したきんたろう倶楽部。5月の呉羽丘陵整備を皮切りに、11月までに25回の活動を実施し、延べ約600人の会員が汗を流しました。

一切求めない奉仕の方々であり、その代表の方は遠く高岡の長慶寺からはるばる小羽まで足を運んでおられるということも判かった。▼そんな折「きんたろう倶楽部」から支援をいただけることになり、地主の皆さん方からも全面的な協力を得て周辺樹木や竹林を除伐して、富山平野が展望できる清水公園へと一挙に期待が拡がることとなった。▼「喜助」は小羽小学校の裏手が生誕地であり（清水屋敷と呼んでおり、標識も建っている）幼少の頃から大工仕事・工作に秀地主さんも環境や景観に配慮され、くる年もくる年も竹林の除伐や周辺整備に苦労されてきていた。そのような状況を踏まえて村の中では仲間を募り竹炭づくりを楽しんでみてはどうか、という一石二鳥を狙った声も挙っていた。▼一方この公園の除草・清掃が年間を通して徹底して行われるようになっていた。かつては村の中にお世話をされていた方もおいでになったが、今ではどなたがされているのか不明のままであった。そんなある日の朝早く、清掃されている方々に偶然にもお会いすることができた。その方々は金銭的見返りなどでていたと伝えられている。清水建設創業200年記念誌によれば1804年（文化元年）21歳にして江戸神田鍛冶町に大工の看板を掲げたとある。家継を妹に託した「喜助」は、何歳にして小羽を出立したのか。そして飛騨に向かったのか越後に向かったのかは明らかでない。昭和3年には、小羽の最も見晴らしの良いところに「喜助」を顕彰して記念碑が建立された。現在は宗家6代目の所有となっている。▼その記念碑には『清水包喜翁記念之碑』と彫りこまれているが、揮毫は「論語と算盤」を著したあの渋沢栄一（1840～1931）である。渋沢は昭和6年没とあるから3年前の揮毫ということになろうか。癖の無い実に穏やかで素直な書体で書かれている。それにしてもこんな寒村にこともあろうに「渋沢栄一」の書蹟があるとは驚きであり衝撃を享ける。▼小羽村八幡宮の春季例祭には黒と赤の二頭立ち獅子舞が奉納されてきているが（近年、人手不足で中断している）、清水記念碑での獅子舞は欠かしたことはない。記念碑は小羽校下の誇りであり、末永く後世に語り継いでいかなければならない財産である。▼先般きんたろう倶楽部をはじめ関係団体の方々や校下の皆さんの協力を得て第一回除伐が実施されたが、丁度その前日に「清水記念碑・公園入り口」と白地に紺字の立派な看板が県道脇に建てられた。これも奉仕によるものである。

小羽総代　新畑 彬
（きんたろう倶楽部 監事）

小羽地区センター前に集合し作業の手順説明を聞く

伐採した竹をチッパーシュレッダーを使って粉砕

▼小さい谷川の上に山積みにしていた竹を、雪が降る前に処分するという作業が残っていました。行事が重なり動けない地元チームや倶楽部の状況を見て、清風会（清水建設富山県協力会）の皆さんが協力をしてくれました。おかげで綺麗になり、水の溢れる心配もなくなりました。▼清風会の皆さんの作業を見ていると、安全管理、作業分担、終了後の整理整頓、道具の手入れなど「さすがはプロ」と学ばせていただくことが大です。

山田　務
（きんたろう倶楽部事務局長）

呉羽地区
長慶寺竹林整備

8月5日/129名参加
10月14日・15日/22名参加
11月11日/6名参加

▼真夏の照りつける太陽の下、130名にも及ぶ参加者は数名のグループに分かれ、歩くこともできない竹のはびこる斜面に分け入ること2時間。光の差し込む美しい竹林が蘇り、羅漢さんも嬉しそうな笑顔になりました。昼は長慶寺で、住職さんのお話を伺い、みんなで意見交換をしました。継続的に整備しようという熱意の声から、地域チームが誕生しました。

田口　松男

竹やぶが見る見る美しい竹林に

▼リーダー会議で「秋の羅漢祭りまでには整理をする」と決め、時雨模様の中、集まったメンバーは倒れた竹や枯れたものを粉砕処理し、午前午後合わせて5時間に及ぶ作業をしました。▼終了後、参道から見上げる羅漢さんの背景は見違えるほどすっきりとしていました。参加者からは「いいがになったね」の声と、顔には「良かった」の満足感が溢れていました。

近島　穆

森の里親・光陽小学校
（KOROりんの森）
10月29日/75名参加

▼私は、少しでも森の木を増やしたいと思って参加しました。竹の植木鉢のどんぐりがうまく育ってくれるように、世話をしていきたいと思います。

5年　福居　紗希

▼私は、KOROりんの森には木が少ないなあと思いながらどんぐりを植えました。今回のように緑を増やすことができるチャンスがあって、それに参加できたことがよかったと思いました。

5年　畑田　樹里

▼KOROりんの森を元に戻すための第一歩を踏み出すことができたと思います。きんたろう倶楽部の方から教わったことを生かして、もっと緑を増やす活動に取り組みたいと思います。

5年　藤永　健

森の里親・紅葉ガ丘幼稚園
（吉作地内）
10月26日/35名・10月31日/58名参加

▼たくさんのどんぐりを拾った子ども達は嬉しい気持ちがあふれ出て、友達や教師、きんたろう倶楽部の方々に「こんなに集めちゃった！」と伝えていました。▼竹の植木鉢はぷーんと良い香りがし、手作りと自然のぬくもりが感じられます。▼翌週、「ひまわりの会」のみなさんと青空の下で「どんぐりころころ」を歌い、自然に親しむだけでなく、世代間交流を通して楽しい時間を過ごすことができました。ひまわりの会のみなさんも、「今日は私達も楽しかったちゃ！」と言っておられ、嬉しかったです。

山下　智子
（紅葉ガ丘幼稚園教諭）

自然観察講座（昆虫の森体験）
8月27日/30名参加

▼呉羽の森ってどんな森？夏休み最後の日曜日に約30人の親子連れが集まった。一行は呉羽山の生き物を観察しながら生態系から見た森の状態を肌で感じ、人と共生できる森づくりへの関心を深めあった。

中沖　修一
（人づくりチーム）

大沢野・大山地区整備
（森林政策課主催）
9月10日/110名参加

▼初めて森林の伐採作業に参加した。日頃は車から眺めるだけの竹林を、実際に伐採してみると竹の多さにビックリ。硬くて大変だったが、次第に明るくなりすがすがしかった。今後も続けていきたい。

富山国際大学生

里山整備リーダー養成講座
（森環境教育事業所と共催）
10月7日～9日/24名参加

2007年の活動に向けてみんなで話し合おう！

1月17日（水）
午後6:30より
ファミリーパーク自然体験センターホールにて

●皆さん集まりましょう！参加申込みは事務局まで

▼今年も残すところあとわずかとなった。振り返り、記憶に新しいことといえば、なんといっても全国で起きたクマの里地や市街地への大量出没、大量捕獲であろう。▼人の手が離れた里山は野生動物に生活の場を与えてしまった。人とクマの生活圏が入り乱れ、その中で人の気配や構造物、環境を学習してきたクマは、野良犬のように人家近くで柿の実などの餌をあさることを知った。そして出会う人に危害を加えた。営々と続いていた人と森のバランスが崩れたのだ。▼きんたろう倶楽部は4月の結成以来、合併した富山市の富山、婦中、大沢野、大山、八尾、細入、山田の全地域で活動拠点を設定し、「森づくり、人づくり、地域づくり、仕組みづくり、情報づくり、組織づくり」を目指して活動を展開してきた。▼この活動に対し、光陽小学校の子どもたちをはじめ8団体から寄付金を頂き、さらに11月2日には「第一回北日本新聞沈黙の森賞」を受賞するなど、きんたろう倶楽部とその活動は、この一年で、富山の地域や社会にしっかりと認められてきたといえる。▼しかし里山が、かつて持っていた野生動物との境界帯としての機能や、自然の価値や恵みを受け取り、感じる場としての役割りは簡単に再生できるものではない。社会全体の認識の転換と継続的な取り組みが必要である。▼その中で、きんたろう倶楽部も現状に甘んじているわけにはいかない。旅立ちの支援を富山市に依存した一年でもあった。地域社会にあって、きんたろう倶楽部の活動を持続的に展開し、成果を森や人々の中に定着していくためには、自立した組織として育っていかねばならないだろう。▼人、もの、資金、事業などの安定した循環の仕組みづくりが急務である。また、それを可能とする組織の強化や事務局の確立がこれからの課題といえる。▼クマも山も眠る冬、わたしたちきんたろう倶楽部は充分に知恵を練ろうではないか。▼そして2007年に向けて歩みを続けよう。悠久の森と人のために。

山本　茂行
（きんたろう倶楽部　副会長）

私たちは
森づくりを応援します。

越中から、日本の中心から情報発信。
北日本新聞

「ちゃんと
火を使える子供に
なってほしい」

YES! GAS Yes! Natural
GAS Energy Communication COMPANY 日本海ガス
http://www.ngas.co.jp
あなたとガスのホットライン
お客さまコールセンター 0120-18-1107

社団法人
富山県建設業協会
〒930-0094 富山県富山市安住町3-14 富山県建設会館3F
TEL 076-432-5576　FAX 076-432-5579

デジタル印刷＆マルチメディア
TOUZAWA
とうざわ印刷工芸㈱
本社　〒930-0008 富山市神通本町1丁目8-13 TEL(076)432-3267(代)

▼人づくり部会では、森をフィールドとした環境教育についても理解を深め、具体的な手法を体得していくことが大切と考え、10月に「里山リーダー養成講座」の一環として、「プロジェクト・ワイルド」と「プロジェクト・ウエット」を体験し、指導者資格を取得できる研修会を開催した。ワイルドは野生生物、ウエットは水がテーマで、いずれも森との関連を考えながら展開できる。講師に森環境教育事務所の森美文さんを招き、夜の交流会でも体験談や交歓で盛り上がった。2コース延べ参加者24人。きんたろう以外に遠く長野からも参加があった。

本田　恭子
（人づくりチーム）

熊野川クマ対策草刈りに協力

10月8日/150名参加

▼クマ出没が相次ぎ、緊急招集で出動しました。地元の100名を優に超えるひとたちに加わり、ブーンという草刈り機の合唱と共に数キロに及ぶ河原の草刈りが始まりました。背丈以上の草や木に蔦が絡み、牟呂となった茂みと転々とある畑に柿の木、クマのグルメロードと化していました。2時間ほどですっかり見渡せるようになり、ほっと一息でした。

長谷川　由美
（情報づくりチーム）

緑化推進大会を支援

（ネイウッドフェスティバル）

10月22日/250名参加

▼10月22日（日）に婦中町大瀬谷で開催されたネイウッドフィスティバルに友人と共に参加しました。一昨年の台風の爪あとに植樹をすることが今回の作業でしたが、主催された婦負森林組合の方たちを始め、漁業組合の方や一般の方も多く参加されていました。急斜面の作業に苦戦もしましたが、終わってから活動場所を見上げるときれいに植えられた新しい命が並んでいました。良い汗をかいた後には地元の方の心遣いで鍋もいただきました。活動を通して地域で力を合わせて森づくりをすることの素晴らしさを改めて感じられたように思います。

石原　佳奈

里山整備体験と交流会

（割山森林公園天湖森）

11月4日/38名参加

やぶの下草を刈って
遊歩道となる

途中木に関する専門家から様々な話が聞け、実際に鉈と下刈鎌で潅木を伐採する体験もできるという、一風変わった旅だった。自分たちが手入れした森で子や孫たちと先々一緒に遊ぶ夢を描いたのは、私一人ではなかったのでは。

湯野　秋子

森林体験バスツアーを後援

（森林政策課主催）

11月5日/68名参加

▼森林体験バスツアーは、有峰の巨木を愛でながら散策、加工センターで間伐材の加工現場を見学、▼参加の皆様に、おいしい芋煮を食べていただこうと参加しました。前日、試食会を開き練習したのですが、50人分となるとピンとこないので少し慌てました。結果は、皆様に「おいしかったよ」と言っていただき嬉しかったです。

篠田　雅子
（組織づくりチーム）

呉羽丘陵竹林整備を共催

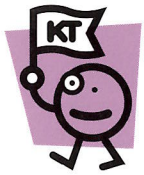
（公園緑地課主催）

11月12日/145名参加

▼1～13班に別れ、入山。荒れた竹林現場まで約20分歩く。雪になるかも、という冷たい雨が、時に激しく降る中、雨天決行の予告通り、作業決行。▼伐倒方向を確認し、声を掛け合い、テキパキ作業をする。▼かちゃかちゃで足の踏み場もなかった竹林が別の場所のような変貌を遂げる。達成感。充実感。気持ち好い。参加の皆様お疲れ様。また一緒にやろ～ぜっ！

友﨑　貴代美

こちらで～す



ご参加のお申込みは事務局まで

076-434-1316

info@kintaroclub.net

2007年の活動に向けて
みんなで話し合おう！

1月17日（水）
午後6:30より
ファミリーパーク自然体験センターホールにて

きんたろう倶楽部「森・人づくり」冬季計画表

日程	講座名	内容
2007		
2月中旬	救急法講習会	心肺蘇生法と応急処置
2月25日（日）	雪上観察会	雪の里山で自然観察
3月11日（日）	安全講習会	チッパーシュレッダーの取り扱い